

2025 年度 研究、教育、社会貢献活動報告書

1. 研 究（本年度のみ）

ふりがな	いまはし ひろし				
教員氏名	今 橋 裕	職 位	准教授	学 位	博士（学術）
アルファベット表記	IMAHASHI HIROSHI				
専門分野		技術経営論、イノベーション・マネジメント、イノベーション論			
研究課題	テーマ	日本製造業における B to B 率及び研究開発多角化と収益性の関連性分析			
	概要	日本の製造業全業種について、経済産業省の産業連関表など公的データから B to B 率という新たな指標を用いて、スマイルカーブ化の検証及び研究開発多角化の度合いと収益性との分析を実施している。			
本年度 研究業績	研究テーマ	日米製造業の収益性の検証、異業種間競争による新産業の創出、伝統産業における海外ブランドとの融合に関する研究の実施			
	経過と到達点	日米製造業の収益性の検証及び異業種間競争による新産業の創出については、共同研究者と共に継続中である。 伝統産業における海外ブランドとの融合に関する研究については、学会発表を実施した。			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①日本の学会誌(査読付き)					
②海外ジャーナル(査読付き・IF なし)					
③海外ジャーナル(査読付き・IF 有)	Relationship between profitability and US firm strategies for research and development intensity and capital investment (査読あり、IF 有) Impact factor (Clarivate Analytics) 2024 JIF 1.4 (5 Year Impact Factor 1.8))	2026 年 2 月 25 日	共著	International Journal of Technology Management, 2025 Vol.99 No.1/2, pp.1 - 22	本研究では、R&D、設備投資、米国企業の収益性の関係を実証的に分析し、2010 年度から 2021 年度までの米国上場企業のデータを用いて回帰分析を実施し、考察を実施した。

④国際共著論文					
⑤招待論文					
⑥その他論文					
⑦ディスカッションペーパー・書評					
⑧紀要論文					
⑨紀要研究ノート・専門誌記事					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
①単著				
②共著				
③分担執筆				

(3) 学会発表

	学会・研修名	発表年月	発表タイトル	概要
① 発表者	第 74 回 日本経営システム学会全国研究発表大会（場所：東京・東京大学）（2025 年度春期大会）	2025 年 6 月 1 日	日本製造業における異業種間競争による新産業の創出	日本の製造業の異業種間競争についてエントロピー値を用いて定量分析を行い、異業種間競争及び新産業の創出について明らかにした。ファーストオーサーとして口頭発表を実施した。
	京都経済短期大学 経営・情報学会 研究報告会	2025 年 9 月 3 日	西陣織における海外ブランドとの融合に関する事例研究	伝統産業における海外ブランドとの融合に関する事例研究について、口頭発表を実施した。
	研究・イノベーション学会第 40 回年次学術大会 (Web 開催)	2025 年 11 月 9 日	製造業における異業種間競争による新産業の創出 ～宇宙開発分野の特許調査による一考察～	日本の製造業の異業種間競争についてエントロピー値を用いて定量分析を行い、宇宙開発分野の特許分析も実施して、異業種間競争及び新産業の創出について明らかにした。ファーストオーサーとして口頭発表を実施した。
② 共著者				

(4) 外部研究資金獲得（競争的資金獲得）

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
①獲得共同研究（研究代表）				
②獲得共同研究（分担研究）				
③申請共同研究（研究代表）				
④申請共同研究（分担研究）				
⑤委託研究（企業等）				

(5) 受賞関係

	研究テーマ	受賞日	表彰名	表彰団体名

2. 教 育（本年度のみ）

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	イノベーション論、観光概論、経営学総論	国際経営論、生産管理論
	演習	基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ、ゼミナール特別活動	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ、ゼミナール特別活動
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義中に動画を用いて視覚的に理解を深めることや、レポート課題を充実させることで、学生にとって身の回りのことと勉強を結び付けて考えてもらうように工夫をした。 ◆ ほぼ毎週の講義最後に Google form と QR コードを用いたアンケートを実施した。翌週にアンケート結果を受講生と共有しながら講義を進めて、学生と積極的なコミュニケーションを図った。 ◆ ゼミナール活動については、レポートの書き方やプレゼンテーションの方法など、アカデミックライティングの演習・講義を重点的に行った。 また、講義時間の他に適宜、就職活動や編入学活動における相談事項に対応した。例えば、履歴書・志望理由書の添削やアドバイス活動、面接練習の実施など、学生の将来への不安の取り除きや、各種の自己肯定感を持ってもらうために学生に寄り添ってサポートを行った。		

(1) ピアレビュー・FD 発表数

	回数
①受け入れ数	回
②参加数	3 回
③FD 発表数	回

(2) 課外活動

	概要
①ゼミ特別活動	●日常 ①個別相談対応（大学生活全般） ②勉学及び進路に関する各種サポート ③就職活動編入学活動及び就職活動における志望理由書、面接練習などの助言・指導・個別学習のサポート ●日帰り ①2025 年 5 月 25 日（日）2 年生ゼミで工場見学（京都市：アトリエ京ばあむ・おたべ本店、京都府宇治田原町：お茶の里木谷製茶場） ②2026 年 2 月 10 日（火）1 年生ゼミで、洛西高島屋さんとの産学連携・共同イベント企業の視察・打ち合わせ（京都市：有限会社グラン・ブルー） ③2026 年 2 月 27 日（金）1 年生ゼミで、洛西高島屋さんとの産学連携・共同イベント企業の視察・打ち合わせ（京都市：松栄堂株式会社）
②その他活動	2025 年 9 月より、洛西高島屋との共同イベントを進めている。

(3) 学内管理業務

	委員会名等概要
①学内委員会	編入学委員会委員長、教学委員会委員、募集入試委員会委員、執行部会委員
②学園委員会	
③ワーキンググループ	
④その他	

3. 社会貢献活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①教育関係	
②学会関係	
③国	
④自治体	
⑤第三者委員会	
⑥産学・地域貢献	・大阪大学大学院 工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 招へい教員（2019 年 5 月～継続中）
⑦その他	

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
①理事長・会長	
②理事	

(3) 講演会関係

分 類	活動・講演の概要
①講演者・登壇者・学会座長	
②その他	(1) 5月11日：京都経済短期大学オープンキャンパスでの特別授業実施。 (2) 10月3日：京都経済短期大学 Web オープンキャンパスでの教員インタビュー参加。 (3) 12月9日：京都経済短期大学での高校見学時の模擬授業実施。（滋賀県立石部高校の生徒対象） (4) 4月23日、10月29日：高短連携講義（対象：明德高校3年生）を実施。 (5) 2026年1月23日、24日：私立大阪高等学校 探究コース（第5期生）成果発表会 講師として派遣される。

4. 特記事項（本年度のみ）

- ・大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻招へい教員（2019年5月～継続中）として、5月17日開催の「ビジネスエンジニアリング専攻シンポジウム 2025（於：大阪大学）」に参加した。その際、大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻の卒業生による講演時に質問をした。